

大学基準協会による大学評価（認証評価）結果を受けて

フェリス女学院大学は、2022年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、「大学基準に適合している」との認定を受けました。認定期間は、2023年4月1日から2030年3月31日までの7年間です。

なお、大学基準協会による適合認定は、2008年（第1期）、2015年（第2期）に続いて、3回目（第3期）となります。

評価結果においては、本学の長所として、全学教養教育機構（CLA：Center for the Liberal Arts）で展開する「FERRIS+実践教養探求課程」における「プロジェクト演習」、「キャリア実習（短期・長期インターンシップ）」でのピアサポート制度の活用、SD研修の組織的な実施について高い評価をいただきました。一方で、改善課題として、学部・大学院において学位授与方針に示した学修成果の測定が不十分であること、大学院における定員管理に課題があることが挙げられました。今後は、長所として評価をいただいた点の更なる伸長を図るとともに、改善課題として指摘を受けた事項については、全学内部質保証推進委員会を中心とした全学的なPDCAサイクルを適切に機能させ、改善に向けて取り組んでまいります。

フェリス女学院大学では、2025年度に向けて大きな転換を視野に入れたさらなる改革を計画しております。先行きの見えない時代にあって、つねに「新しい時代を切り拓く女性」を育成することをめざし、さらなる教育改革を進めていく所存でございます。

2023年4月
フェリス女学院大学
学長 荒井 真